



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月31日

上場会社名 株式会社電算 上場取引所 東  
コード番号 3640 URL <https://www.ndensan.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 轟 一太  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 穂川 尚実 TEL 026-224-6666  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,586	△1.5	104	34.8	109	33.4	75	54.9
2024年3月期第1四半期	3,641	1.2	77	△21.3	82	△19.9	48	△12.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 107百万円 (85.6%) 2024年3月期第1四半期 57百万円 (30.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	13.00	12.99
2024年3月期第1四半期	9.70	9.68

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	19,352	10,822	55.9	1,866.20
2024年3月期	19,547	10,830	55.3	1,867.72

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 10,811百万円 2024年3月期 10,817百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	17.00	—	20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,530	△7.3	△210	—	△200	—	△140	—	△24.17
通期	17,600	10.2	1,350	4.6	1,360	10.2	940	4.6	162.30

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年3月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	5,837,200株	2024年3月期	5,837,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	43,931株	2024年3月期	45,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	5,791,855株	2024年3月期1Q	5,015,819株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の持ち直しや企業収益の改善等により、緩やかに回復しております。先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待される一方、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクや、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

情報サービス産業におきましては、ソフトウェア投資は増加しており、政府主導のデジタル実装を通じた地方活性化の推進や、生成AIの急速な進化と普及による経済効果等、持ち直しの傾向が続くことが期待されます。

このような状況のもとで、当社グループは、公共分野では、標準準拠システムをはじめとする各種システムのリプレイス及び新規導入や、国が創設した「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用した地方公共団体の取り組みの支援等の提案と受注活動に注力しました。産業分野では、リース業務パッケージ、医療福祉機関向けの病院情報関連システム、製造業向けの販売管理システムやAI外観検査システム等の提案及び受注活動に注力しました。さらに、国が定める標準仕様に準拠したシステムの開発のほか、VR※1、AR※2、NFT※3等の技術を活用した観光向けデジタルコンテンツサービス等の展開を引き続き実施しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、公共分野での各種制度改正への対応、標準準拠システムへの移行に向けた支援業務、産業分野での各種システム導入及び機器販売等により、前年同四半期とほぼ同等の売上を確保しました。利益につきましては、子会社を含め各種システムの導入作業において利益を確保したこと等により、前年同四半期と比較して、増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,586百万円（前年同四半期比1.5%減）、営業利益は104百万円（前年同四半期比34.8%増）、経常利益は109百万円（前年同四半期比33.4%増）及び親会社株主に帰属する四半期純利益は75百万円（前年同四半期比54.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### <公共分野>

定例業務である住民税・軽自動車税・国民健康保険・介護保険・固定資産税等の受託処理及び総合行政情報システム等のシステム保守のほか、所得税・個人住民税の定額減税や介護保険等の制度改正対応、標準準拠システムへの移行に向けた支援業務等により、売上を確保したものの、前年同四半期は基幹系システム等のリプレイスや自治体情報セキュリティ対策にかかる機器販売等の売上が多かったこと、また、利益につきましては、当四半期から社内の技術者育成を積極的に進めており、研修費が増加したこと等から、前年同四半期と比較して、減収減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,554百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益は8百万円（前年同四半期比34.2%減）となりました。

#### <産業分野>

定例業務である口座振替、給与計算等の受託計算処理、インターネット接続サービス、リース業務パッケージ等のシステム保守及びデータセンターサービス提供のほか、リース業務パッケージ、販売管理システム及び広告管理システムの導入やリプレイス等により、売上を確保したものの、前年同四半期は医療機関向けの導入、リプレイスや機器販売等の案件が多かったことにより、前年同四半期と比較して、減収となりました。利益につきましては、子会社を含め各種システムの導入作業において利益を確保したことにより、前年同四半期と比較して、増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,031百万円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益は95百万円（前年同四半期比84.0%増）となりました。

- ※1 仮想現実 (Virtual Reality) の略。コンピューターによって創り出された仮想的な空間等を現実であるかのように疑似体験できる技術のこと。
- ※2 拡張現実 (Augmented Reality) の略。コンピューターによって、現実世界に仮想世界を重ね合わせて表示する技術のこと。
- ※3 非代替性トークン (Non-Fungible Token) の略。絵や写真、動画や音楽などのデジタルデータの所有や価値などを証明するもの。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末と比較して194百万円減少し、19,352百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,987百万円、無形固定資産が167百万円、商品が151百万円、リース投資資産が100百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が2,602百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比較して186百万円減少し、8,530百万円となりました。これは主に、流動負債のその他が456百万円増加したものの、賞与引当金が294百万円、買掛金が162百万円及び短期借入金が120百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して8百万円減少し、10,822百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益により75百万円、その他有価証券評価差額金が31百万円増加したものの、期末配当により115百万円減少したことによるものです。

なお、自己資本比率は、55.9%（前連結会計年度末55.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、公共、産業の両分野ともに、第2四半期以降に売上予定であった案件が前倒しになったこと、また、産業分野で各種システムの導入作業を効率よく進め利益を確保したこと等により、概ね好調に推移しております。

なお、前倒しとなった案件の影響と第2四半期以降に予定している各種案件が業績に与える影響を現在精査中であり、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました予想を修正しておりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,601,636	3,589,611
受取手形、売掛金及び契約資産	5,976,450	3,373,795
リース投資資産	1,369,682	1,470,413
商品	71,164	222,842
原材料及び貯蔵品	47,604	48,287
その他	748,209	735,076
貸倒引当金	△47	△46
流動資産合計	9,814,700	9,439,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,221,692	4,151,436
その他(純額)	2,160,119	2,245,670
有形固定資産合計	6,381,812	6,397,107
無形固定資産		
ソフトウェア	1,210,731	1,149,087
その他	715,189	944,712
無形固定資産合計	1,925,921	2,093,799
投資その他の資産		
その他	1,435,700	1,432,306
貸倒引当金	△10,332	△10,352
投資その他の資産合計	1,425,368	1,421,954
固定資産合計	9,733,102	9,912,861
資産合計	19,547,803	19,352,842

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	997,837	835,665
短期借入金	2,172,000	2,052,000
1年内返済予定の長期借入金	564,000	510,000
未払法人税等	4,930	26,526
賞与引当金	600,893	306,411
製品保証引当金	10,832	12,110
その他	1,431,819	1,888,230
流動負債合計	5,782,312	5,630,945
固定負債		
長期借入金	730,000	640,000
退職給付に係る負債	1,253,100	1,245,060
その他	951,408	1,014,631
固定負債合計	2,934,509	2,899,692
負債合計	8,716,822	8,530,638
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,395,482	1,395,482
資本剰余金	1,044,925	1,044,925
利益剰余金	8,353,889	8,312,715
自己株式	△101,767	△98,479
株主資本合計	10,692,530	10,654,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,820	122,358
退職給付に係る調整累計額	34,122	34,396
その他の包括利益累計額合計	124,943	156,754
新株予約権	13,507	10,806
純資産合計	10,830,980	10,822,204
負債純資産合計	19,547,803	19,352,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,641,883	3,586,074
売上原価	2,491,008	2,405,713
売上総利益	1,150,875	1,180,361
販売費及び一般管理費	1,073,525	1,076,101
営業利益	77,349	104,259
営業外収益		
受取利息	23	62
受取配当金	7,300	7,105
その他	2,217	1,948
営業外収益合計	9,541	9,115
営業外費用		
支払利息	4,115	3,942
その他	718	0
営業外費用合計	4,833	3,942
経常利益	82,057	109,433
特別損失		
投資有価証券評価損	—	689
特別損失合計	—	689
税金等調整前四半期純利益	82,057	108,743
法人税、住民税及び事業税	3,745	11,604
法人税等調整額	29,678	21,817
法人税等合計	33,423	33,421
四半期純利益	48,633	75,321
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,633	75,321



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	48,633	75,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,592	31,537
退職給付に係る調整額	504	274
その他の包括利益合計	9,097	31,811
四半期包括利益	57,730	107,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,730	107,133
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	188,924千円	186,344千円

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共分野	産業分野	計		
外部顧客への売上高	2,591,822	1,050,061	3,641,883	—	3,641,883
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	210	210	△210	—
計	2,591,822	1,050,271	3,642,093	△210	3,641,883
セグメント利益	13,671	51,982	65,654	11,694	77,349

(注) 1. セグメント利益の調整額11,694千円には、セグメント間取引消去△177千円、各報告セグメントに配賦していない配賦差額11,872千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共分野	産業分野	計		
外部顧客への売上高	2,554,507	1,031,566	3,586,074	—	3,586,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	232	232	△232	—
計	2,554,507	1,031,799	3,586,307	△232	3,586,074
セグメント利益	8,990	95,647	104,637	△377	104,259

(注) 1. セグメント利益の調整額△377千円には、セグメント間取引消去△214千円、各報告セグメントに配賦していない配賦差額△163千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。